

方針と重点	市の基本施策	学校の教育目標	資質・能力 育てたい	基本施策 との関わり	本年度新たな学校の重点	具体的な実践内容または観点 (手立てとしてどうか、または達成度はどうか)	評価 A S D	分析と改善点
方針・重点 ・郷土高山に根ざし、未来を切り拓くための資質・能力を育む	①②③④ 深い学びを「実感できる授業」の挑戦	①②③④ 「地域生活と働く力」の発信	資質・能力 育てたい	考える子	① 基礎学力の定着	・授業中のルール、学習習慣作り ・必然性のある課題設定 ・主体的対話的な学びの充実 ・つまずきに対する手立ての工夫 ・個の実態把握(アセスメント)	B	・低学年の聞く姿勢、反応のよさが対話式の集会等で発揮された。 ・授業の振り返りの時間確保に課題が残った。 教師主導スタイルからの脱却は来年度も取り組む。 ・「 学習に対する困り感を感じている 」保護者の声が多数あり、要支援児童への指導体制を講じる。 ・「 職員室で授業について語り合い、普段の授業を見せ合う 」教職員の資質能力の向上の取組は今後も継続し、明るくわきあいあいのムードを大切にしたい。
					① 学ぶ意欲の高まり	・単元と1単位時間の見通しをもつ(算数科) ・一人学び(主体的)、仲間学び(対話的協働的)の充実	B	・研究授業を通じて、 教職員が自ら考え、悩む取組ができた。 教師達成率76% ・算数で「考えを持ち、仲間と交流できた」児童達成率84%
					③ 地域に根付いた総合的な学習	・地域人材・素材を活用した学びの発信	B	・ 課題解決の方法や発信力を表出する中間発表会 を設けた。 児童達成度90% ・教師の地域教材開発に課題あり。職員研修を講じる。
				やさしい子	② 仲間と深く関わる力	・自分の「なりたい自分」を語り、仲間の「なりたい自分」を知り、応援する常時活動 ・仲間の特性を知り、どう関わりとよいかを考える話し合い(みんなちがってみんないい)	B	全校的に「なりたい自分」について取り組み、継続的、計画的に「みつめよう やってみよう」につなげた。 児童達成率93%。 行事や学年学級の取組に関心を持ち、「親子で話すきっかけになった」 保護者達成率85%
					② 仲間と達成する喜び	・行事、学級、期ごとのPDCAの位置づけ ・仲間の願いを知り、どう頑張るかを考える話し合い(みんなおなじでみんないい)	B	・行事や学年学級の取組について意図的に話し合い、なりたい自分をつなげ、自己実現できた場面がみられた。児童達成率94%
					② 自分を見つめる力	・生徒指導事案に対する迅速なチーム対応、家庭との連携	A	・教師が共感的理解に努め、児童に思いを伝え、自身をみつめ、考えさせる指導ができた。児童達成率92% 教師達成率95%
				元気な子	② 自他の心と体を大切にする	・体育行事での、指導と評価の一体化 ・「廊下や階段を走る子がいない学校」→自己管理能力	B	・ 授業指導内容、用具や場の設定 を体育主任がリードした。特に 水泳の時間確保と指導が充実した。 教師達成率75% ・休み時間等に元気いっぱい外遊びができるようにしたい。
					② 安全にかかわる知識・体験	・「命を守る訓練」の設定工夫	A	・事前指導を通じて、真剣な心構えができた。教師達成率85% 児童達成率98% ・通学班登校を円滑にできるよう、「学校を欠席、遅刻する場合の保護者同士の連絡」体制が整った。保護者達成率91%
					③ 心のリラクスペースの創出	・どんぐりっこルーム・山王水族館	B	・ 教職員の情報共有と連携が密になり児童や保護者の安心につながった。 教師達成率88% ・「どんぐりっこルーム」についてよく知らない保護者や児童が多く、特別支援体制についての周知に努める。

学校運営協議会における主な評価内容

○通学班でのトラブル解消の取組によって、保護者の理解・協力が一層よくなり、班長の自覚向上につながった。
○みんなが楽しそうに発表する姿がほほえましい。安心して自己表出できていると感じた。
○募金活動やどんぐりっこライブを児童が主体的に企画・運営している。自ら「動き出す」という力が具現されている。
▲一方で挨拶ができる子、できない子の差が大きい。家庭、地域と連携して、相手意識をもてる子に育んでほしい。
▲参観した6送会は一年間の教育活動の成果を発揮する場という共通理解を教職員全体が持てるようにしたい。